

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R 6 年度の実績	進捗評価
1 - 1 誰もが市民活動情報にふれることができる情報の発信	(1) 市民活動情報の収集・整理	市民活動情報データベース化	市民活動にかかわる情報を収集し、データベース化する。	35	AI01010	とよた市民活動センター	活動団体の情報や市民活動情報を市民活動情報サイトに掲載	B
		地域資源マップ	地域に点在する集いの場の情報を集約した情報展開ツールを作成し、市民活動等のコーディネートを実施する。	35	AX06	高齢福祉課	・作成したデジタルマップを活用し、地域包括支援センターの職員等による高齢者の集いの場へのコーディネートを実施 【コーディネート件数：2,412件 参加件数：824件】	A
	(2) 効果的な市民活動情報の発信	広報紙「つなぐ」発行	とよた市民活動センターの広報誌を発行する。	35	AI01010	とよた市民活動センター	広報紙を年6回発行し、市民活動情報やセンター事業情報を発信	B
		市民活動情報サイトによる情報発信	市民活動情報サイト（とよた市民活動センターホームページ）を見やすくリニューアルを行い、市民活動情報の掲載とプラットフォーム化を行う。	35	AI01010	とよた市民活動センター	活動団体の情報や市民活動情報を市民活動情報サイトに掲載	B
		スマイルゆうネット	スマイルゆうネット（トヨタグループボランティアネットワークシステム）と連携し、ボランティア情報等を発信する。	35	AI01010	とよた市民活動センター	情報交換を随時実施	B
		広報力向上セミナーの開催	市民活動団体を対象とした広報セミナーを開催する。	35	AI01010	とよた市民活動センター	動画作成、チラシ作成アプリ（CANVA）使用方法に関する講座を実施	B
		退職予定者への情報発信	企業の退職予定者説明会等を利用して市民活動情報を発信する。	35	AI01	地域交流課	退職予定者向けチラシを企業に送付し、情報を発信した。従来の入会説明会に加え、ハローワークでの出張入会説明会を毎月1回開催した。 また、機関紙「シルバーとよた」の発行や、ホームページ及びFacebookをなどSNSを活用し活動情報を随時更新し情報発信に努めた。	B
1 - 2 誰もが市民活動に参加できる機会の提供	(1) 市民活動を体験できる機会の提供	市民活動体験事業	誰もが市民活動を知り、参加体験ができる取組を実施する。	36	AI01010	とよた市民活動センター	とよたつながる博を開催し、市民活動を知る・体験できる場を提供	B
		シニアアカデミー	高齢者の市民活動や生きがいづくりを促進するための学び・相談・情報提供等の支援を実施する。	36	AL01	学び体験推進課	通年コース、専門コース、はじめの一步講座を開催し、学びをきっかけとした市民活動・地域活動の実践と活動支援を実施	B
		とよたものづくりフェスタ事業	子どもたちが様々なものづくりを体験・体感できるイベントを、ものづくり団体、大学、高校、中学校等と連携して開催する。	36	AL01010	ものづくりサポートセンター	T E S フェスティバル（トヨタ技術会主催）と合同でわくわくワールドを開催。 来場者数15,000人 54ブース出展	B

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R 6 年度の実績	進捗評価
		市民によるアートプロジェクト推進事業	市民主体の文化芸術活動・発表の場を創出し、文化芸術に関わる人材の発掘・育成を促進する。	36	AL04	文化振興課	●市民参加型アートイベントの開催 「とよたまちなか芸術祭2024 boost」／2024年10月26日～11月3日 まちなかの5会場（旧近代の産業とくらし発見館、名鉄トヨタホテル、青少年センター／喜楽亭、coffee喜多町喜多琉 & goheymochi喜多琉、児ノ口公園） 市民アートプロジェクトメンバー出身のディレクター1名を中心に、市民アートプロジェクトメンバー有志による市民活動団体「とよたアートパーティ」がアートイベントを創り上げた（出展者数：52組／来場者数：2,566人） ●アートに触れる機会の提供 ・「こどもアート縁日」／豊田地域文化広場（来場者数：318人） 子ども向けアートイベントを開催し、来場者に活動を周知した ●豊田独自の文化事業の集約・発信 「TAP magazine」 市民ライターとの運営体制を継続（掲載記事数：12件、リーチ数：15,580回／市民ライター：7名） ※市民アートプロジェクト公式LINE登録数（318人）	B
		日本語教育促進事業	在住外国人が地域社会で円滑な日常生活を送れるよう、必要な日本語能力を育む切れ目のない日本語学習支援施策の体系化を実施する。	36	AI02	多様性社会共創課	①多文化子育てサロン事業 未就園児を持つ外国につながるのある保護者等に、母語・継承語の重要性を啓発し、多言語環境で育つ子どもの特徴に関する理解を促進するための子育てサロンを開催 開催回数：7回 延べ参加者数：154人（うち、外国人：70人、日本人：84人） ②外国人の幼児向け日本語教育事業 外国人の幼児に対し、就学後の生活にスムーズに適応するための日本語教室を開催するとともに、保護者に対しても子どもの言語習得に関する啓発を実施 教室数：4教室 開催日数：100日 延べ参加者数：489人 ③外国人青少年学習支援事業 外国人の子どもに対し、継続して学校生活を送れるよう日本語指導を含む放課後学習支援を実施 開催日数：225日 延べ参加者数：3,274人 ④外国人の子どもの社会適応サポート事業 不就学等の外国人の子どもに対し、初期日本語教室を開催 開催日数：223日 延べ参加者数：636人 ⑤日本語学習支援事業 外国人住民が生活に最低限必要な日本語能力を習得するための日本語教室を開催 教室数：7教室 開催回数：194回 教室利用者数：685人（うち、外国人学習者：329人、日本人支援者：356人）	B

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R 6 年度の実績	進捗評価
		姉妹都市交流事業	市民や学生の姉妹都市への相互派遣等により、友好親善及び異文化理解を促進する。	36	AI02	多様性社会共創課	①米国デトロイト市交換学生受入事業 デトロイト市から高校生を受け入れ、市内高校生との交流やホームステイ、市内文化施設等の見学を実施した。 受入日数：14日間 受入生徒数：7人 ②英国ダービーシャー高校生派遣事業 市内の高校または高等専門学校に通う生徒をダービーシャーのバートン・アンド・サウスダービーシャーカレッジに派遣し、現地の学生やホストファミリー等との交流、英国トヨタ自動車の見学、ダービーシャー県庁への表敬訪問等を実施 派遣日数：12日間 派遣生徒数：12人	B
	(2) 社会課題に気づく場の提供	市民交流カフェの開催	世代や性別、職種などジャンルを超えた多様な価値観を持つ人が気軽にきて気軽に語り合えたり、活動者から直接話を聞ける場や、社会課題に自然と気がつく場を提供する。	36	AI01010	とよた市民活動センター	R7年度は3回(8、12、3月)、対話の場を実施	B
		社会課題講座の開催	社会課題をテーマとした講演会や講座を開催する。	36	AI01010	とよた市民活動センター	未来都市推進課と共催で、とよたSDGsマスター受講者募集に関する市民活動団体向け講座を開催	B
		女性ライフプラン・キャリア形成支援事業	結婚や出産を機に活動していない女性の就労意欲や市民活動への参画意識を醸成するための相談・セミナー・交流会を開催する。	36	AI02010	ジェンダー平等推進センター	女性のためのスキル&マインドアップセミナー「élat(エクラ)」を年間23回実施し、延べ349名が参加。 様々な段階にいる女性を対象に、スキルアップやマインドアップなどの学びの機会と、つながりの場としての居場所提供を兼ねた講座を実施。	B
		自然観察の森を拠点とした自然環境学習事業	環境学習施設「自然観察の森」を拠点に、自然体験など自然環境に関する講座や学習を実施	36	AE01	環境政策課	自然観察の森が主催する自然体験講座を45回(610人)実施した。また市内小学校を含む団体が施設で自然環境に関する学習を274件(5,787人)実施した。	B
		エコットを拠点とした暮らしの環境学習事業	環境学習施設「エコット」を拠点に、省エネやごみのリサイクルなど身近な生活環境に関する学習や講座を実施する。	36	AE01	環境政策課	市民に対し、エコライフ講座(ごみのリサイクルなどの身近な生活環境に関するもの)を117回実施し、1,987名が参加した。また、公共施設見学(主に小学4年生を対象とした、ごみ処理の流れについて学習するプログラム)を実施し75校(3,614名)の生徒が参加した。	B
		森林普及事業	市民の森づくりに対する理解促進のため、森林と関わりの薄い市民等に合わせた講座を開催する。	36	AG07	森林課	年間を通して全12講座(延べ35日)開催し、延べ432人が参加した	B
		自転車安全利用講習事業	講義・実技を交えた自転車の安全利用に関する講習を実施する。	36	AI03	交通安全防犯課	年間19回 参加人数134人(未就学児：40人、小学生：33人、保護者：61人) 1回の参加者は1～2グループと少人数での開催であったため、参加者の理解度や技量に合わせた細やかな指導が実現し満足度の高い講習が実施できた。例年に引き続き、チェックシートを用いた評価を取り入れ、公道で注意すべき点が明確になり、家庭での継続的な指導に繋げることができた。	B

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R 6 年度の実績	進捗評価
		自助意識普及啓発事業	市民の防災意識高揚と自助の取組推進のための啓発事業を実施する。	36	AI04	防災対策課	・ 防災キャンプ実施支援 6校（669人） ・ マイ・タイムライン作成支援 23件	B
		相互理解の促進と意思疎通の円滑化の推進事業	地域共生社会の実現に向け、意思疎通に配慮が必要な要配慮者に関する相互理解の促進及び意思疎通の円滑化を推進する。	36	AB09	行政改革推進課	相互理解の促進と意思疎通に関する行動計画に基づき、関係課を中心に各種事業を実施した。	B
		国際理解・啓発事業	（公財）豊田市国際交流協会と連携し、地域の国際化のため、多様な国の言語や文化に関する関心・理解を深め、活動を実践できるイベントや講座を幅広い層を対象に開催する。	37	AI02	多様性社会共創課	①マイカントリーデー事業 様々な文化的背景を持つ市民やグループが、出身地等の文化や生活習慣を市民に紹介する取組を支援することで、地域の相互理解を深め、多文化共生を推進する。 開催回数：1回 参加者数：130人 ②国際理解推進事業 ・ こども国際クラブ 市の国際化を担う子どもの国際感覚や、国や地域による文化的な違いに興味を持って互いを認め合うことができる人材を育てるため、「みんなで作ろう！世界の友だちの輪」をテーマに外国にルーツのある講師等との交流や自ら設定した課題に関する発表会を実施 開催回数：9回 参加者数：12人（市内の小学4年生から6年生までの児童） ・ 国際理解教育 市内の小・中・高等・特別支援学校等や児童生徒が所属する団体に対し、国際分野に興味を持つきっかけとなり、関心を高めることができる授業を実施 開催回数：9回 述べ参加者数：630人 ③国際理解セミナー 国際分野への理解を深めるための参加体験型のセミナーやイベントを開催 開催回数：3回 延べ参加者：95人	B
1-3 市民活動を 始めやすい 環境の整備	(1) 活動 を始めるた めの支援事 業の充実	市民活動相談事業	市民活動に関する多様な相談に対応する。また、活動場所としての施設を提供する。	37	AI01010	とよた市民活動センター	市民活動に関する多様な相談への対応、活動場所の提供を実施	B
		市民活動促進補助金（はじめの一步部門）	市民活動を始めようとする団体や経営基盤の弱い団体に対し、補助金を交付する。	37	AI01010	とよた市民活動センター	16団体に補助金を交付	B
		シニアアカデミー （再掲1-2）	高齢者の市民活動や生きがいづくりを促進するための学び・相談・情報提供等の支援を実施する。	37	AL01	学び体験推進課	通年コース、専門コース、はじめの一步講座を開催し、学びをきっかけとした市民活動・地域活動の実践と活動支援を実施	B
		プロボノプロジェクト （再掲1-2）	社会人によるボランティア（プロボノ）参加の場を創出し、市民活動団体が行う「共働によるまちづくり」活動を促進する。	37	AI01010	とよた市民活動センター	トヨタ自動車プロボノコミュニティと連携し、2団体とマッチングし、団体が抱える課題解決を実施	B

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R 6 年度の実績	進捗評価
		女性のライフプラン・キャリア形成支援事業 (再掲1-2)	結婚や出産を機に活動していない女性の就労意欲や市民活動への参画意識を醸成するための相談・セミナー・交流会を開催する。	37	AI02010	ジェンダー平等推進センター	女性のためのスキル&マインドアップセミナー「élat(エクラ)」を年間23回実施し、延べ349名が参加。 様々な段階にいる女性を対象に、スキルアップやマインドアップなどの学びの機会と、つながりの場としての居場所提供を兼ねた講座を実施。	B
		ものづくり教育プログラム事業	小学生を対象に、学校カリキュラムの中で関連付けたものづくり体験を、ものづくりサポーターの支援により実施する。	37	AL01010	ものづくりサポートセンター	教育プログラムを実施(73校)	A
		クルマづくり究める プロジェクト事業	子どもたちが、プロからクルマづくりを学び、挑戦する活動を自動車関連企業と連携して実施する。	37	AL01010	ものづくりサポートセンター	令和6年度から丘KOBAプロジェクトに移行したため、実績無し。	
		わくわく事業	地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助する。	37	AI01	地域交流課	地域課題に対する住民の主体的な取組を支援するため、313団体(うち新規52団体)に対し補助金を交付した。	B
		ブランド農産物担い手育成事業	里親農家とJAと市との共働事業である桃・梨専門コースを運営し、桃・梨栽培サポーターの養成と運用を行う。	37	AG14	農業振興課	・桃・梨専門コース(2年) 受講者:5期生2名(R7.3月修了)	B
		農とのふれあい推進事業	農ライフ創生センターにおける家庭菜園向け初級農作物栽培技術研修及び市民農園等の運営支援等を実施する。	37	AG14 AG13	農業振興課 農政企画課	・農ライフ創生センター旬の野菜づくりコース(1年) 受講者:30名 ・市民農園運営支援事業 件数:1件 決算額150,000円	B
		鳥獣害対策事業	鳥獣害対策を行う農家や集落の支援及び有害鳥獣駆除の実施。また、人材育成や効果的・効率的な対策を研究する。	37	AG14	農業振興課	・集落ぐるみで行う柵の設置 27集落 ・集落獣害対策ベストマッチ事業の実施 3集落 ・補助従事者向け研修会の実施	
		河畔環境整備支援事業	河畔環境保全活動を行う水辺愛護会などの市民団体が、持続的かつ自発的な活動が展開できるよう支援する。	37	AH12010	矢作川研究所	・作業用道路修繕 ・支援HPの運営 ・検討部会の運営 ・植生調査、管理活動計画図の作成準備	B
		ふるさとの川づくり事業	地域住民の手による身近な小川の自然再生を通して地域の自然への愛着を醸成し、市民と行政が共働で自然豊かな川づくりを実施する。	37	AH12010	矢作川研究所	・浚渫工事(広沢川) ・地域住民による川遊び体験会の支援(広沢川) ・地域住民への川づくり勉強会の実施(広沢川) ・ワークショップによる未来希望図の作成(一ノ瀬川)	B
		地域内移動手段確保事業	地域住民と市の共働により地域内を走るバス等を運行し、地域特性や需要に応じた交通サービスを提供する。	37	AJ02	交通政策課	・地域バスの運行:10地域 ・地域タクシーの運行:4地域 ・共助交通への財政的支援:3団体(たかみお助け隊、水源カーシェアくら会、平山自治区)	B

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R 6 年度の実績	進捗評価
		民有地緑化促進事業	市民や事業者との共働により民有地の緑化を促進し、うるおいをもたらす緑あふれる空間を創出する	38	AJ27	公園緑地課	私有地における緑地の整備面積（市支援分）①都心0㎡ 私有地における緑地の整備面積（市支援分）②都心以外425㎡	C
		地域子どもの居場所づくり事業	子どもたちが自主的に活動する場、地域の子ども同士や大人が交流する機会を提供し、地域全体で子どもの育成を支援する。	38	AQ01	こども・若者政策課	・37か所で実施（自治区型8か所、地域学校共働本部型28か所、その他1か所）。 ・実施日（5,570日） ・参加者数（74,619人）	B
		とよたエコフルタウン推進事業	SDGsの取組や先進技術実証の見せる化、新しいサービスの体感・ニーズの集約を実施する。	38	AN07	未来都市推進課	施設閉鎖のため実績なし	
		Jリーグホームタウン推進事業	豊田スタジアムでの名古屋グランパスのホーム公式戦開催に合わせ、来場者を取り込んだ取組や応援気運を盛り上げる自主的な取組に関する支援・調整を実施する。	38	AL05	スポーツ振興課	・C+podを活用したカーシェア実証 ・C+walkを活用した先進モビリティのレンタル事業「まち+モビ」の実施 ・「e-Palette」を移動可能な多目的スペースとして利用するマルチタスク車両としての活用に向けた実証の実施	B
		郷土学習推進事業	市民や団体、地域と共働により、郷土の歴史・文化財を子どもたちに継承する取組を学校と連携して実施する。	38	AO13	博物館	豊田市SDGs認証制度参加事業者数：35者（うち認証取得者数：17者） とよたSDGsパートナー登録数：291件（2025年3月末時点） 豊田市SDGs研修カード「とよたSDGsマスター」公認ファシリテーター認定数：35名 連携事業：17件（パートナー多数と連携したT-FACEにおけるPRイベントなど） SDGs関連プロモーション事業：10件	B
		市民によるアートプロジェクト推進事業	市民主体の文化芸術活動・発表の場を創出し、文化芸術に関わる人材の発掘・育成を促進する。	38	AL04	文化振興課	・応募数 15件 ・採択事業 8件 ※代表者が18歳以上であれば高校生も応募できるようにした。初心者向けにデカチャレコースを新設し、市内高校の企画を1件採択。昨年度に引き続き、実施した内容が秀逸だったデカスコースのプロジェクトには「デカした賞」「ぷちデカした賞」として賞金を上乗せした。 ・参加者数（オンライン視聴者含む） 966人 ・企画者が自ら考え、創意工夫を凝らしながらアートプロジェクトに取り組むことをしっかり支援した。 ・市内のインスタメディアを運営する団体に依頼し、プロジェクト自体の情報周知に努めた。	B

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R 6 年度の実績	進捗評価
		重層的支援体制推進事業	高齢や障がい、子ども、困窮など対象や年代を限定しない相談支援や、社会参加の支援、住民同士が支え合える地域づくりを実施する。	38	AX09	よりそい支援課	福祉の相談窓口や社協CSWによる個別的な相談支援、地域住民同士が支えあえる地域づくりを実施。地域との情報交換や地域づくり実現に向けた地域との打合せ等を実施。	B
		成年後見制度利用促進事業	成年後見制度の利用につながる相談体制の構築や、成年後見制度や権利擁護支援の活動に携わる人づくり・環境づくり等を実施する。	38	AX09	よりそい支援課	権利擁護推進シンポジウムを開催。（参加者296名） 豊田市成年後見・法福連携推進協議会を3回開催し、身寄りを頼ることができない方への支援の検討や権利擁護支援に関する今後の課題についての議論を行った。	B
		きらきらウエルネス地域推進事業	地域の健康関連データを中学校区ごとにまとめた地域健康カルテを基に、地域特性に応じた健康づくりを住民との共働により推進する。	38	AY07	健康づくり応援課	・各地域での意見交換会等の実施、地域健康づくり事業計画の作成：0地区	
		元気アップ事業	高齢者の体力づくりや認知症予防を目的とした教室を実施し、介護予防活動が自主的に継続できるよう支援する。	38	AY07	健康づくり応援課	・元気アップ教室の実施：11か所 ・自主活動グループの支援：205グループ	C
		高齢者の住宅防火促進事業	各種の福祉関係者と連携し、高齢者宅の訪問時等に火災予防について啓発してもらうことで高齢者の火災による被害を軽減する。	38	BA03	予防課	社会福祉協議会等の福祉関係者と連携し、福祉関係者の会議や出前講座等を通して「高齢者の火災予防対策について」のチラシ約5,000部の配布及び高齢者へ直接、防火対策に関する声掛けを実施した。	B
		応急給水施設整備事業	災害時の応急給水活動を地域と共働で実施するため、拠点となる応急給水施設を整備する。	38	CA15	（上下水）企画課	災害拠点給水施設改修・新設：3施設（花本配水場、乙部ヶ丘高区配水場、深見配水場） 飲料用循環式耐震性貯水槽新設：1施設（小原地区）	B
		コミュニティ・スクール推進事業	中学校区の単位で小・中学校の連携及び地域ぐるみの教育を効果的に実施するコミュニティ・スクールを推進する。	38	KC03	学校教育課	・コミュニティ・スクール推進委員会を年4回開催し、中学校区内での効果的な連携についてのPRポスターや好事例集を作成してコミュニティ・スクールの推進を図った。 ・コミュニティ・スクール連絡会議を開催し、地域で育てたい目指す子ども像、9年間を見通した学校間及び学校と地域の連携方法について共通理解を図った。	B
	（2）利用しやすい活動場所の提供	市民活動見せまSHOW	市民活動を知ってもらうため、ペDESTリアンデッキ等の まちなかを通行する人に向けて、発表、出展、ワークショップ等を開催する。	39	AI01010	とよた市民活動センター	実績0件	D
		活動スペースの貸出	活動スペース（ホール・研修室・会議室・活動室（2室）・作業室）の貸し出しや、オンライン活動のサポート等を行い、市民活動団体を支援する。	39	AI01010	とよた市民活動センター	試行実施で要望が多かったため、Wifiルーターを備品に追加して貸出を実施	B

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R 6 年度の実績	進捗評価
		交流館運営事業	豊田市交流館運営基本方針に沿った交流館運営を実施し、地域の拠点施設として、市民活動の促進や市民の活躍を支援する。	39	AI01	地域交流課	・交流館部屋利用件数85,452件	B
		まちなか広場空間活用推進事業	中心市街地の広場（公共的空間）を多く活用させる取組を展開し、活用者の発掘や育成を行いながら、にぎわいを創出する。	39	AG15	産業振興課	あそべるとよたプロジェクト等の公共的空間活用事業を民間主導で予定通り実施した。 〈R6利用実績〉 利用件数：96 利用団体数：25 内、新規団体数：9	B
2-1 組織力強化を支援する仕組みの整備	(1)人材や運営に関する支援策の充実	運営力向上支援事業	組織運営に関する各種セミナーを開催する。また、プロボノを活用した組織運営の支援や活動現場に生じた支援をする。	40	AI01010	とよた市民活動センター	より団体個別の状況に応えるため、団体活動振り返り支援をサポートする事業を新たに実施	B
		プロボノプロジェクト（再掲1-3）	社会人によるボランティア（プロボノ）参加の場を創出し、市民活動団体が行う「共働によるまちづくり」活動を促進する。	40	AI01010	とよた市民活動センター	トヨタ自動車プロボノコミュニティと連携し、2団体とマッチングし、団体が抱える課題解決を実施	B
		新しい生活様式（ニューノーマル）への対応	新しい生活様式（ニューノーマル）における活動事例紹介や、有益な情報を提供する。	40	AI01010	とよた市民活動センター	施設利用者に、wifiルーター貸出を実施	B
		先進移動技術等実証事業	規制緩和や各種支援事業を通じた先進技術実証の推進及び地域課題・市民生活向上に資する「移動サービス」の担い手育成・支援する。	40	AN07	未来都市推進課	・C+podを活用したカーシェア実証 ・C+walkを活用した先進モビリティのレンタル事業「まち+モビ」の実施 ・「e-Palette」を移動可能な多目的スペースとして利用するマルチタスク車両としての活用に向けた実証の実施	B
		犯罪のないまちづくり活動支援	構成員全体のスキルアップを狙った講座や研修会の実施、自主防犯活動団体の活動を支援する。	40	AI03	交通安全防犯課	・地域防犯ボランティア・ステップアップ講座の開催（9～10月 3回） ・自主防犯活動用物品や自主研修会の講師料等の支援を実施。	B
		自主防犯活動支援事業	自主防災リーダーの育成や自主防災訓練の支援、補助金交付など、自主防災組織の活動を支援する。	40	AI04	防災対策課	・自主防災リーダー養成講座開催（2回） 自主防災リーダー165人育成 ・自主防災訓練支援 167回 ・自主防災事業補助金執行 合計14,890,000円 ・豊田市自主防災会役員会（3回/うち1回書面） ・豊田市自主防災会定期総会（1回） ・豊田市自主防災会研修会（1回） ・豊田市自主防災会事例発表会（1回）	B

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R6年度の実績	進捗評価
		子ども食堂支援事業	子ども食堂の相談支援及び継続的な運営確保等について社会福祉協議会へ委託。また、運営費用のうち衛生管理上必要な経費を補助する。	40	AX09	よりそい支援課	子ども食堂の相談支援及び継続的な運営確保等について社会福祉協議会へ委託。子ども食堂の新規立ち上げ支援に関する相談支援や継続的な運営に関する相談支援を実施。運営費用のうち、衛生管理上必要な経費補助の実施。相談件数：208件	B
		地域スポーツ支援事業	地域スポーツクラブやスポーツ推進委員の活動を様々な点から支援することで、身近な地域でのスポーツ機会を創出する。	40	AL05	スポーツ振興課	地域スポーツクラブについては、豊田市スポーツ協会と連携した育成支援事業や、各クラブの教室事業を推進するための補助金事業等を実施した。 ・スポーツ推進委員については、「救急救命講習」や「カローリング、リズムトレーニング研修」等のスキル向上を図る研修会を年4回実施した。	B
		スポーツボランティアの活動促進事業	スポーツボランティアとよたの事務局を立ち上げ、ボランティアによるおもてなし事業を実施する。	40	AL05	スポーツ振興課	おもてなし事業委託において、市主催イベント等のボランティア活動を通じて、参加者のイベントへの満足度を高めた。 ・様々なボランティア活動を行うことにより、スポーツボランティアとよたの会員数がさらに増加した。	B
	(2) 資金確保に関する支援策の拡充	市民活動促進補助金（活動ステップアップ部門・新規事業チャレンジ部門）	市民活動団体が、活動の継続・活性化を目指したり、多様化する課題に取り組む新たな事業を行う場合に補助金を交付する。	40	AI01010	とよた市民活動センター	活動ステップアップ部門及び新規事業チャレンジ部門に各1団体に補助金を交付	B
		助成金情報の提供	市民活動団体へ各種助成金情報を提供する。	40	AI01010	とよた市民活動センター	市民活動情報サイト等に助成金情報を随時掲載	B
3-1 効果的な課題解決に向けた多様な主体の共働の仕組みづくり	(1) 多様な主体の交流の場づくり	とよた活動応援ネットワーク・中間支援コア会議	多様な主体を対象とした意見交換会等の交流ができる機会を提供する。	41	AI01010	とよた市民活動センター	ボランティア情報や中間支援組織の連携に関する情報等の意見交換会を実施（計6回）	B
		テーマ型団体と地縁組織の交流会	テーマ型と地縁組織の交流する機会を提供する。	41	AI01010	とよた市民活動センター	多様な主体を集めた「対話でつながるラボ」を開催し、テーマ型、地縁型を含む様々な活動団体が参加	B
		市民活動体験支援事業（再掲1-2）	誰もが市民活動を知り、参加体験ができる取組を実施する。	41	AI01010	とよた市民活動センター	とよたつながる博を開催し、市民活動を知る・体験できる場を提供	B
		まちなか広場空間活用推進事業（再掲2-1）	既存の公共空間を利用して、将来のまちなか広場の活用アイデアや担い手を発掘・育成する。	41	AG15	産業振興課	あそべるとよたプロジェクト等の公共的空間活用事業を民間主導で予定通り実施した。 〈R6利用実績〉 利用件数：96 利用団体数：25 内、新規団体数：9	B
	(2) 多様な主体との共働事業の推進	共働事業提案制度	市民活動主体の事業提案を共働で事業実施するための制度の運用、研修を実施する。	41	AI01010	とよた市民活動センター	共働事業提案制度の事業推進のため、職員向けの研修（共働推進担当者・責任者研修、新規採用職員向け研修、入庁後4年目の職員に対し、住民との市民団体との共働の学びとして、フィールドワークを中心としたパートナーシップ研修）を実施	B

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R 6 年度の実績	進捗評価
		交流館と地域学校共働本部の連携強化	学校側のニーズと交流館等がもつ地域資源情報を共有し、地域の特性に合わせて連携を推進する。	41	AI01 KC03	地域交流課 学校教育課	・地域コーディネーター研修会の中で、交流館との連携について事例をもとに周知を図った。 ・交流館祭や交流館行事への中学生ボランティアの派遣を行った。 ・交流館を利用する団体とのつながりをもてた地域学校共働本部があった。	B
		地域学校共働本部推進事業	地域と学校が連携・共働し、地域全体で子どもの成長を支えていく組織の活動推進する。	41	KC03	学校教育課	・地域コーディネーター研修会を動画配信で行い、各学校の学校運営協議会における地域学校共働本部の役割について周知を図った。 ・地域学校共働本部が主体となり、授業や行事などの学校支援ボランティアだけでなく、「居場所づくり」「元気っ子クラブ」「未来塾」「土曜学習」等、地域の特色を生かした活動を行った。 ・地域学校共働本部推進アドバイザーを派遣し、各地域学校共働本部の活動への支援・助言を行った。 ・部活動の地域展開に向けての運営体制の整備を進め、「『とよた地域クラブ活動』を見据えた部活動運営実施要領』を作成した。	B
		地域課題解決事業	地域の意見を市の予算に反映し、地域と共働で課題に対応する。	41	AI01	地域交流課	地域と共働で地域課題の解決に向けた取組として、88事業（うち新規17事業）実施した。	B
		企業・大学と連携したスポーツ支援体制の構築	企業・大学と連携したスポーツ教室等を継続して開催しながら、企業・大学の優れた指導者や環境を活用できる仕組みを構築する。	41	AL05	スポーツ振興課	・トヨタ自動車、中京大学、J F A と連携し、小中学校を対象とした「夢の教室」を開催した。 ・中京大学と連携した小学生向けの「イーグルススポーツ教室」を実施した。 ・『とよたスポーツ体験講座』として、中京大学や地域スポーツクラブ、市スポーツ協会と連携した小学生向けの「走り方教室」やトヨタ自動車と連携した「投げ方教室（ソフトボール・野球）」、「タグラグビー体験会」、「パラアスリートによる特別授業」を実施した。 ・トヨタ自動車と地域スポーツクラブが連携したホームチーム地域交流事業を実施した。	B
		市民との共働による 不法投棄監視活動事業	市民・企業ボランティアである不法投棄パトロール隊との 共働により不法投棄を早期発見・回収し、新たな不法投棄を監視及び抑止する。	41	AE09	清掃業務課	不法投棄パトロール隊との協働により、不法投棄物の収集及び抑止を実施済 不法投棄パトロール隊 2 0 8 団体 6, 6 2 9 人	B
		SDGs未来都市推進事業	とよたSDGs パートナーとの連携事業及び活動支援を行い、SDGs 未来都市の取組事例の国内外への発信する。	41	AN07	未来都市推進課	豊田市SDGs 認証制度参加事業者数：35 者（うち認証取得者数：17 者） とよたSDGs パートナー登録数：291 件（2025 年3 月末時点） 豊田市SDGs 研修カード「とよたSDGs マスター」公認ファシリテーター認定数：35 名 連携事業：17 件（パートナー多数と連携したT－FACE におけるPR イベントなど） SDGs 関連プロモーション事業：10 件	B

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R 6 年度の実績	進捗評価
		地域エネルギー活用モデル構築事業	環境負荷の少ない再生可能エネルギーの普及を促進するとともに、エネルギーの地産地消モデルを構築し、地域課題解決に向けたエネルギーの有効活用する。	41	AN07	未来都市推進課	・地域新電力と連携した実証により、エネルギーの地産地消及び小売電気事業による地域課題の解決モデルの検証を実施	B
		外国人市民の住みやすさ向上事業	外国人市民の意見を市の取組に反映させるとともに、外国人への効果的な情報伝達体制を確立する。	41	AI02	多様性社会共創課	①とよたフレンズ制度 とよたフレンズに認定した団体に対し以下を実施 ・多文化子育てサロン開催、市HP内の外国人向けページ開設等に関する情報を発信、コミュニティ内での周知を依頼（4回） ・豊田市環境基本計画策定に向けたの市民参画の取組として、意見交換を実施（1回） ②外国人の意見を聴く会 ・豊田市環境基本計画策定に向けたの市民参画の取組として、意見交換を実施（1回）【再掲】	B
		総合的な認知症施策推進事業（早期発見と社会参加）	認知症の早期発見・対応と、認知症の人がそれぞれの個性に合わせたボランティアや就労などの場へ社会参加ができる仕組みの構築する。	42	AX06	高齢福祉課	・警福連携等による早期発見の対応【チラシ配布9967枚】 ・社会参加支援研修会の実施【参加者67名】 ・地域包括支援センターにおける社会参加支援のためのマッチングの実施【22か所】 →社会参加支援に係る企業等へのアドバイザー派遣の実施【一回】 ・若年性認知症等の人の社会参加支援（プラットフォーム）におけるコーディネートの実施【23件】 ・認知症の人の本人発信支援（ピアサポート活動）【1回】 ・認知症本人ミーティング【1回】	B
		総合的な認知症施策推進事業（支援チーム）	認知症の人等の支援ニーズと、認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みを構築し、支援チームとして共生の地域づくりを推進する。	42	AX06	高齢福祉課	・認知症サポーター養成講座等の実施【認知症サポーター養成講座受講者2434人、ステップアップ講座受講者 453人】 ・認知症サポーター等登録制度の利用者数【利用者 30人】	C
3-2 効果的な課題解決に向けた多様な主体の共働の仕組みづくり	(1) 中間支援組織等によるコーディネート機能の充実	とよた活動応援ネットワーク・中間支援コア会議（再掲3-1）	多様な主体を対象とした意見交換会等の交流できる機会を提供する。	42	AI01010	とよた市民活動センター	年6回実施	B
		市民の活躍機会のコーディネート	交流館をはじめとした中間支援組織による市民の活躍機会のコーディネートを実施する。	42	AI01	地域交流課	・交流館におけるコーディネート対応件数535件	B
		ボランティアセンターとの連携	各ボランティアセンターと連携し、市民活動をマッチングする。	42	AI01010	とよた市民活動センター	トヨタ自動車プロボノコミュニティと連携し、2団体とマッチングし、団体が抱える課題解決を実施	B
		地域資源マップ（再掲1-1）	地域に点在する集いの場の情報を集約した情報展開ツールを作成し、市民活動等のコーディネートを実施する。	42	AX06	高齢福祉課	・作成したデジタルマップを活用し、地域包括支援センターの職員等による高齢者の集いの場へのコーディネートを実施【コーディネート件数：2,412件 参加件数：824件】	A

※進捗評価：A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R 6 年度の実績	進捗評価
		交流コーディネート 事業	おいでん・さんそんセンターにより、都市部と山村部をコーディネートするとともに、その魅力や山村部の価値を発信する。	42	AI05	総合山村室	・都市部企業、大学、団体等と山村地域のマッチング・コーディネートを実施。24件実施。 ・さらに共同作業の実施が困難な小規模高齢化集落へのボランティア派遣を9地域（計13回）実施し、のべ55名のボランティアを派遣した。 ・「とよたの山里応援隊登録制度」として、山村地域でのボランティア人材を確保した。（108名、2団体登録）	B
		子どもの学習支援事業	経済的理由等で学習環境が整っていない子どもへ、ボランティア等による学習支援や生活習慣の改善など世帯全体の生活支援を実施する。	42	AX09	よりそい支援課	市内6か所にて集合型学習支援・市内1か所にて訪問型学習支援を実施した。学校で出た宿題をみる等の基礎的な学習の支援・普段の家庭や学校生活の相談に乗る支援を行った。 ・利用者（集合型）：104名 ・利用者（訪問型）：3名 ・総実施回数（集合型）：269回 ・総実施回数（訪問型）：99回	B